



整備される平沢の街並み

◆魅力ある観光振興を

問 市内や奈良井宿を訪れる外国人観光客が増加している。誘客を図るための案内ガイドの育成や多国語サインの充実が必要では。(山口)

答 奈良井宿や観光センターにインターネットが利用できるWi-Fi環境を整備。今後は外国語会話のスキルを持つ職員を採用し研修を行う予定。

◆平沢の観光対策

問 木曾平沢の町並み整備事業と観光の連携をどうするか。その中でインバウンド対策はあるか。(篠原)

答 地元の皆さんとの連携をより深めながら、漆工町木曾平沢を職人や匠の技に直接触

問 本年2月、施設整備の概要が示され、その中で市民プールが突然廃止となった。そのほかの古い施設整備について、どの様に考えているか。また、平成25年4月にファシリティマネジメント基本方針が策定されているが、取り組みの現状は。(平間)

答 市民プールは施設の老朽

公共施設の整備充実を

◆体育施設とファシリティマネジメント(施設等の効果的な管理運営)



外国人も訪れる奈良井宿観光案内所

れることができる特別な観光地としてPRしていきたい。また近年、県内や奈良井宿等で増加傾向にある外国人旅行者も取り込んでいきたい。



洗馬小学校

化や利用状況、今後の改修費用などを総合的に判断して廃止とした。

その他の公共施設については、ファシリティマネジメント基本計画を踏まえ「公共施設等総合管理計画」を早期に策定し、各施設ごとに棚卸しを行い検討していく。

問 本年度予定の洗馬小学校の大規模改修工事が来年度に延期と聞いたが、理由と経過及び今後の対応は。(古畑)

答 昨年度に実施設計を行い、国の交付金を財源として本年度の夏休みを利用し、改修工事をする予定だった。全国自治体からの要望額が国の予算を大幅に上回ったため、災害対策等の優先順位の高いものから採択になり、今回は不採択となった。交付金なしでは

支えあう市民福祉

◆認知症予防対策

問 新オレンジプランの取り組みについて、認知症初期支援チームの構成メンバーや認知症カフェを増やすための市の支援策は。(永井)

答 平成29年度に認知症初期集中支援チームを設置する。構成員は、専門医、保健師、看護師、社会福祉士等で編成し、認知症の人やその家族に

財政負担が大きいため、国の補正予算で追加採択されるのを待つて実施することとした。

問 和式トイレを嫌がる傾向にある。洋式トイレ設置は早められないか。(古畑)

答 検討していく。



認知症カフェの案内掲示